

令和 7 年度 木材利用促進事業活用実績							
番号	内容	施主	設計者	施工者	木材供給業者	市産木材使用量	木材全体使用量
R7-1	住宅増築	個人	有限会社大原住建 一級建築士事務所	有限会社大原住建	株式会社多久和木材	13.7023m³	19.5711m³
R7-2	住宅新築	個人	梅木建設株式会社1級建築士事務所	梅木建設株式会社	周藤製材有限会社	15.8625m³	17.6139m³
R7-3	住宅修繕	個人	建築 藤原	建築 藤原	株式会社多久和木材	2.3006m³	2.3006m³
R7-4	住宅新築	個人	三ツ和建築デザイン	有限会社三ツ和	株式会社多久和木材	15.0673m³	21.8015m³
R7-5	住宅新築	個人	幸和一級建築士事務所	幸和建设株式会社	周藤製材有限会社	16.1002m³	25.4095m³
R7-6	住宅新築	個人	幸和一級建築士事務所	幸和建设株式会社	周藤製材有限会社	15.4456m³	25.6048m³
R7-7	住宅修繕	個人	株式会社植田建設	株式会社植田建設	株式会社多久和木材	4.4617m³	4.4617m³
R7-8	非住宅新築	株式会社常松土建	有限会社大原住建 一級建築士事務所	有限会社大原住建	株式会社多久和木材	45.9140m³	63.1583m³
R7-9	住宅新築	個人	株式会社かみしろ設計部	株式会社かみしろ	有限会社曾田木材工業	24.4100m³	25.5700m³

令和 7 年度 木材利用促進事業における建築物等に使用した木材に係る炭素貯蔵量（C O 2換算）

活用件数	市産木材 利用量	市産木材の 炭素貯蔵量 （CO ₂ 換算）	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 （CO ₂ 換算）
9 件	153.3 m³	95.4 t-CO ₂	205.5 m³	130.9 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和 3 年10月 1 日付け 3 林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（C O 2換算）の量を示すものです。

木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第 2 の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

市産木材の炭素貯蔵量（CO2換算）について

一人当たりの 54 年分の二酸化炭素排出量に相当

木材全体の炭素貯蔵量（CO2換算）について

一人当たりの 74 年分の二酸化炭素排出量に相当